

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 西尾みなみ商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考												
				目標①			目標②			得られた効果			A B C D 評価				今後の展開・改善点等									
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果		満足度	補足	目標①	目標②								
巡回・窓口相談指導事業	経営基盤の弱い小規模事業者を中心に、経営指導員等の商工会職員が事業所へ訪問し、融資等の金融相談、申告時期の務務相談、労務相談等の経営全般に係る様々な相談への指導をすることにより、経営及び技術の改善を図り、健全な企業を育成する。このほか、創業予定者を始めとした経営全般に係る相談窓口の設置によって、経営改善に資する指導を行う。	巡回指導 延件数 440件 非会員 3件 実件数 199件 非会員 3件 窓口指導 延件数 857件 非会員 19件 実件数 419件 非会員 15件 基金企業 5件 非会員 2件 実件数 2件 非会員 2件 課題解決提案件数 30件 経営革新認定件数 2件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 120.6%)			指標	課題解決提案件数 (達成度 100.0%)			巡回指導や窓口指導だけでなく、積極的に接触することで現状分析、課題や問題点を明確にし、解決への糸口を見つけ出し、小規模事業者の経営改善を図ることができた。 コロナ対策での金融処理や感染防止対策によるいろいろな協力金への対応もスムーズに行えた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	B	満足度	補足	目標①	目標②	コロナ下での小規模事業者への支援で、商工会への依存度は高くなっており、それが会員の減少に歯止めが掛かっていると感じている。今後もそれに応えるためにさらさら巡回指導を充実させていきたい。			
				目標数値	1,080	実績数値	1302	目標数値	30	実績数値	30					目標達成度					A	必要性		A	実施方法①	実施方法②
				目標数値		実績数値		目標数値		実績数値						目標達成度					A	必要性		A	実施方法①	実施方法②
記帳継続指導	商工会職員が、個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告・消費税確定申告書の指導を行い、適正な財務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結び付ける。	記帳指導事業者数 81件 指導延日数 434日 指導延回数 806回	小規模事業者	指標	記帳指導事業者数 (達成度 103.8%)			指標	達成度 (達成度 %)			起業家や小規模事業者にとって大きな負担でもある記帳や税務に関する事務を商工会がサポートすることによって、後継者育成・経営分析等の手法を得ることができるとともに、将来的に力をいれられることができる。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	A	満足度	補足	目標①	目標②	記帳指導の引き合いが年々多くなってきている。親切丁寧な指導を申し付け、利用者の取込みを図り、適正な決算申告に寄与したい。			
				目標数値	78	実績数値	81	目標数値		実績数値						目標達成度					A	必要性		A	実施方法①	実施方法②
				目標数値		実績数値		目標数値		実績数値						目標達成度					A	必要性		A	実施方法①	実施方法②
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって経営に必要な金融・税務・経理・労働・情報化等の知識を習得させるほか、時事的な問題を周知させ、事業者の資質の向上と円滑な事業運営を図る。	・集団指導（5回） 受講者数 188名 ・個別指導（15回） 受講者数 243名 ・広域連携（1回） 受講者数 4名 うち経営革新 1件	小規模事業者	指標	講習会参加小規模事業者数 (達成度 95.6%)			指標	達成度 (達成度 %)			コロナ感染の多少の影響を受けたものの、今年度はインボイス制度を中心に講習会を実施し、制度の周知が図られた。個別は主に経理税務関係となったが、適正な確定申告を意図することができた。	総合評価	B	実施評価	自己評価	調査結果	B	満足度	補足	目標①	目標②	事業者ニーズを把握したうえで、タイムリーなテーマの選択を熟考していきたい。			
				目標数値	455	実績数値	435	目標数値		実績数値						目標達成度					B	必要性		A	実施方法①	実施方法②
				目標数値		実績数値		目標数値		実績数値						目標達成度					B	必要性		A	実施方法①	実施方法②
若手後継者等育成事業	商工業の後継者である青年、若手経営者及び商工業に携わる女性に対し、経営に必要な知識の修得や資力の向上を図るための講習会・研修会を開催し、小規模事業者の振興・発展を図る。	・青年部 部員 62名 講演講習会・役員会 地域振興事業等 25回/年 ・女性部 部員 39名 講演講習会・役員会 地域振興事業等 19回/年	青年部・女性部部員	指標	講習会地域振興事業等参加回数 (達成度 80.0%)			指標	達成度 (達成度 %)			コロナ感染の中ではあったが、地域の若手後継者等とふれあいを通じて、経営者としての刺激を得ることができ、各種講習会を通して若手後継者としての資力の向上を図ることができ、自身の事業所の振興・発展を図ることができた。	総合評価	B	実施評価	自己評価	調査結果	B	満足度	補足	目標①	目標②	事業承継をスムーズに進めるためにも、若手後継者の育成は重要。最も必要事業であることを認識して、支援していきたい。令和4年度目標未達のため来年度は目標値を下げる			
				目標数値	55	実績数値	44	目標数値		実績数値						目標達成度					B	必要性		A	実施方法①	実施方法②
				目標数値		実績数値		目標数値		実績数値						目標達成度					B	必要性		A	実施方法①	実施方法②
祭典事業	各種のお祭り・祭典などを開催することにより、その集客力を活かして地域の産業（地域資源、観光資源）のPRを行い、地域の総合的な振興を図る。	参加事業所数 6月 仁吉まつり 104 7月 ストーンカップ 中止 8月 盆踊りの集い 中止 11月 きらまつり 232	地区内商工業者	指標	祭典事業参加事業所数 (達成度 93.3%)			指標	達成度 (達成度 %)			コロナ感染の影響で一部実施はできなかったもののその他のイベントで年展りに開催できた。「イベントを通じて地域の活性化を図り、地域住民の一体感を生み、観光資源のPRする」という目的が果たせたように思う。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	A	満足度	補足	目標①	目標②	イベントは地域活性化手法の載ったもの。イベント実施により良い意味で地域の賑わいがある。地域を盛り上げ活性化を図る。			
				目標数値	360	実績数値	336	目標数値		実績数値						目標達成度					A	必要性		A	実施方法①	実施方法②
				目標数値		実績数値		目標数値		実績数値						目標達成度					B	必要性		A	実施方法①	実施方法②
地域懇談会事業	これからの地域経済の振興について地域懇談会を開催し、地域の実態把握とともに、地域経済振興に向けた対応を検討するなど、地域活性化に向けた各種事業に取り組み、地域振興と地域商工業者の発展に寄与する。	・西尾市、西三河地域での様々な地域懇談会に参加 13回 西三河地区商工会で開催する職種別会議等に参加 20回 その他地域ごととの問題について協議する検討会に参加 53回 市の地域振興事業へ参加 23回	市内及び西三河地域の商工団体等	指標	地域懇談会等出席回数 (達成度 218.0%)			指標	達成度 (達成度 %)			コロナ感染防止の影響で、開催日の変更が多かったが、書面やオンラインでの対応で地域の課題などを協議する地域懇談会に積極的に参加し、情報交換を行い、広域での地域経済の発展に寄与することができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	B	満足度	補足	目標①	目標②	広域連携はどの地域でも必要不可欠な。広域経済の発展がこの地域の発展に繋がるよう連携を深めていきたい。			
				目標数値	50	実績数値	109	目標数値		実績数値						目標達成度					A	必要性		A	実施方法①	実施方法②
				目標数値		実績数値		目標数値		実績数値						目標達成度					A	必要性		A	実施方法①	実施方法②
商業活性化事業	消費者の生活形態の変化、郊外型大型店等への購買力流出など、地元中小事業者が抱える様々な経営課題解決に向け、地域活性化、集客力向上につながるようにキラット商品券発行事業やプレミアム商品券事業、さらには街路灯の維持管理を実施し、地元事業者の活性化、街づくりに寄与する。	キラット商品券発行事業 1,946,000円分発行 街路灯維持管理事業 街路灯 480本	地区内事業者	指標	キラット商品券発行目標額（円） (達成度 389.2%)			指標	街路灯維持管理本数 (達成度 98.2%)			街路灯事業により町の景観が整備され、街路灯LED化で街を明るく照らすことにより安心、安全な街づくりにより寄与できた。 キラット商品券発行事業はコロナの影響で、町の各団体の利用が増え、予想をはるかに上回る発行高となった。わずかではあるが地元事業者に還元できたのではない。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	B	満足度	補足	目標①	目標②	街路灯のLED化が進んだが、廃業者も増え今後も街路灯は減少傾向にある。町の安全・安心のためにも引き続き継続していき、令和4年度目標未達のため来年度は目標値を下げる			
				目標数値	500,000	実績数値	1,946,000	目標数値	489	実績数値	480					目標達成度					A	必要性		B	実施方法①	実施方法②
				目標数値		実績数値		目標数値		実績数値						目標達成度					A	必要性		B	実施方法①	実施方法②

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

団体名： 西尾みなみ商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考				
				目標①			目標②			得られた効果			A B C D評価				今後の展開・改善点等			
				指標	実績数値	達成度	指標	実績数値	達成度	総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足		目標①	目標②		
産業団体等指導事業	各種団体等、産業振興・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては工業の活性化に資する。	西尾労働基準協会 吉良分会の事業支援 （会員数82件） 西尾労働基準協会 樟豆分会の事業支援 （会員数33件） 吉良ガス協同組合の 事業支援（会員数4件） 吉良商工業協同組合の 事業支援 （組合員数33件） 吉良平成会（55件） 西尾平成部（18件） 吉良・樟豆まづくり 協議会の事業支援 （22件）	左記団体の 構成員	左記団体の構成員数 （達成度 111.8 %）			（達成度 %）			コロナ感染の影響で各団体とも活動縮小を余儀なくされたが、昨年一昨年には多くの事業活動を行うことができた。各種業界団体、協同組合、地域貢献団体の支援することにより、同業種及び異業種間での意見交流が商工会を通じて活発に行われ、地域社会の発展や発展の一助となり、地域の活性化に繋がることができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	目的をある程度共有化している団体事業は、参加者も多く実施した事業も行える。地域の活性化には欠かせない活動が、どの団体も可能な限りの活動ができた。	○
				目標達成度	A	A	必要性	A	実施方法①				実施方法②							
産業活性化事業	吉良地区、樟豆地区の地域資源の活用や、キッチンカーを有効利用して特産品及び観光のPRなどを行い、企業の発展や地域産業の活性化に資する。	吉良花火大会 4日 ハワイアンダンス 4日 すみだまつり 中止 いらっしやい亭での観光PR（中止） にしおマラソン 3日 市内・西三河管内の観光事業 関連会議への出席 10日 ・地元産品のPR・販売 ・ご当地自販機展開事業	地区内 商工業者	観光PR回数・関連会議 出席延べ日数 （達成度 105.0 %）			（達成度 %）			コロナ感染の影響で一部中止になったものもあるが、過去2年間と比較して各地のイベントが多く行われ、一昨年開発した茶うどんのさらなるPRにより、抹茶だけでなく西尾のお茶を周知することができ、地域の活性化へつなげることができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	特産品や観光資源など地域の特長を凸凹することは、地域活性化の基本と考え、今後も積極的に実施していきたい。また協同組合が強化され、自立化が図れると判断し、次年度目標値は下げる。	○
				目標達成度	B	A	必要性	A	実施方法①				実施方法②							
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続を行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図る。	労働保険事務組合委託 事業者の労働保険事務 労働保険事務組合委託 事業者の労働保険料納付事務 （委託事業者数128件）	労働保険事務組合 西尾みなみ商工会への委託事業所	委託事業所数 （達成度 103.2 %）			（達成度 %）			人的、時間的に制限の多い中小企業者の労働保険事務を委託し、代行することにより中小企業者の事務処理の負担を軽減するとともに、労働保険の適正な運用を図ることができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	労働保険加入要件を理解していない事業者もかなり多いため、加入促進を図り、労働保険事務委託事業の周知を実施していく。	○
				目標達成度	A	A	必要性	A	実施方法①				実施方法②							
調査・広報事業	中小・小規模事業者関連の施策に反映するため、また、関連施策の利用を促すため、制度を中心とした広報を発行し、幅広い周知を図る。	商工会報 年2回発行 情報提供 年8回	地区内商工業者	商工会報等情報提供回数 （達成度 111.1 %）			（達成度 %）			コロナ感染防止策における各種補助金や助成金の情報提供をはじめ、中小・小規模事業者関連の施策やそれに関連した制度を中心とした広報を発行し、幅広い周知を図ることができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	商工会の存在価値を上げるため、商工会事業や国県市の施策を今後も積極的にPRしていく。	○
				目標達成度	A	A	必要性	A	実施方法①				実施方法②							
人材育成事業	各種検定事業や人材育成に関する事業を実施することにより、優秀で地域を担っていく人材を育成。一方、慢性的な人材不足を補うため、外国人実習生受入事業の推進を図り、将来的な商工業の発展や地域の活性化を図る。	・商工会珠算検定 3回 （受験者数12名） ・各種検定事業の紹介 検定（随時） ・外国人技能実習生 検定事業 4件	地区内商工業者 及び地域住民	珠算検定受験者数 （達成度 30.0 %）			外国人受入事業検定事業所 数 （達成度 100.0 %）			目商とのコラボもあり受験者数は少なかったが、珠算検定実施することにより、地域内に数字に強い人材を育て、将来的な商工業や地域の活性化を図る一助となった。 外国人受入事業を行うことで、慢性化する人材不足の解消への手助けがつかめた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	珠算事業は年々小規模になっていくが、珠算を通じて未来ある子供たちを育てるために継続していきたい。外国人受入事業はこれまで以上に心掛けた。	○
				目標達成度	B	A	必要性	B	実施方法①				実施方法②							
福利厚生事業	各種共済制度の普及により中小企業、小規模企業の経営、雇用の持続的な安定を図り、企業の健全な育成に資する。	中小企業共済 585件 中小企業共済 15件 東海共済 15件 小規模企業共済 207件 セーフティ共済 10件 特定退職金共済 10件 ニュービジュアル検定 2件 中小企業退職金 6件 容器リサイクル 3件 健康診断事業の実施 268名	地区内商工業者 及びその従業員	各共済加入者合計 （達成度 121.9 %）			健康診断参加人数 （達成度 107.2 %）			商工業者に必要と思われる共済や従業員の福利厚生に役立つ共済の加入促進を行い、企業の安定的な発展を図る一助となった。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	共済加入や健康診断の実施は、小規模事業者の従業員の福利厚生を促す意味でもさらに推進していきたい。しかし、従業員不足が顕著になっており、共済も飽和感が強くなっており、目標値は下げざるを得ないが、今後はこまめな加入促進が重要となる。	○
				目標達成度	B	A	必要性	A	実施方法①				実施方法②							
税務関係団体指導事業	青色申告会・法人会等の税務支援団体、地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては、商工業の活性化に資する。	きは青申告会との共催による 税務相談の実施 4回 きは青色申告会の事務支援 会員数 201名 西尾法人会樟豆支部の事務 支援 会員数 93名 西尾法人会吉良支部の事務 支援 会員数 186名 きは青申告会 ・西尾法人会吉良支部 ・西尾法人会樟豆支部 の要する講習会、研修会 事業の支援	きは青申告 会、西尾法 人会吉良樟豆 支部会員	青色申告会・法人会員数 （達成度 94.5 %）			（達成度 %）			地域の税務支援団体である青色申告会や法人会事業のサポートを行うことにより、事業者に通正な税務申告の意識を植え付けることにも、地域社会への貢献や発展の一助とすることができた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	決算・確定申告事務は事業者には避けずは通正な税務申告は行政が希望するところである。両者の意向をくみ取り、この事業は重要なものと考え、廃業も多く、巡回等で税務関連のニーズを把握している。今後のため年度目標値を下げる。	○
				目標達成度	B	A	必要性	B	実施方法①				実施方法②							

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 西尾みなみ商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											備考							
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価					今後の展開・改善点等						
				指標	各委員会開催回数 (達成度 125.0 %)		指標	(達成度 %)		総合評価	A	事実評価の 目標達成度	自己評価	調査結果への 満足度		調査結果への 必要性	補足	目標①	目標②			
部会・委員会事業	商業・工業などの各部会や小規模企業振興委員会などの部会・委員会活動を行い、部会・委員会参加企業の発展に資する。	先進地日帰り研修 中止 合同日帰り研修会 1回 小規模企業振興委員会 1回 工業委員会 3回	各部会・委員会構成員	4	実績 数値	5	目標 数値	実績 数値	達成度 %						下火となったコロナ禍の元、研修も積極的に行った。各種業界団体、協同組合、地域貢献団体の事務等を支援することにより、同業種及び異業種間での意見交流が商工会を通して活発に行われ、地域社会の貢献や発展の一助となり、地域の活性化に繋げることができた。			総合評価	A	事実評価の 目標達成度	B	自己評価
青年部・女性部事業	青年部・女性部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与する。	・青年部例会 2回 (親睦交流事業) 参加者 39名 ・女性部例会 1回 (親睦交流事業) 参加者 24名	青年部・女性部部員	150	実績 数値	63	目標 数値	実績 数値	達成度 %	コロナの影響を多少受けたものの、青年部・女性部とも懇親活動は何とか実施できた。特に女性部は工夫を凝らした事業内容により、事業縮小となりながらも、できる限りの活動を行うことができ、部員間での親睦事業や社会福祉を通じて地域との関わりを携つことにより、部員自らの人間性を大きくすると共に地域社会の発展に寄与することができた。	総合評価	B	事実評価の 目標達成度	B	自己評価	調査結果への 満足度	調査結果への 必要性	補足	目標①	目標②	青年部・女性部事業の親睦交流事業は組織力強化には欠かせないが、そういった交流事業から地域振興事業や研修会等にシフトすることで、さらなる組織が強化を目指していきたい。令和4年度目標未達のため来年度は目標値を下げる。	○

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。